

# 智翠館特別コース 合格者インタビュー

( 総合選抜型・学校推薦型  
入試編 )

～ “やりたい！”を貫く～

◎インタビュアー(聞き手)  
: 嶋田直人(3年担任)

◎インタビューイ(語り手)  
: 佐々木大佑さん

**九州大学**

理学部 物理学科

総合型選抜合格

: 佐藤幹太さん

**筑波大学**

人文・文化学群 人文学類

学校推薦型選抜合格

: Yさん

**島根県立大学**

看護栄養学部 看護学科

学校推薦型選抜合格



A man in a grey suit and glasses is sitting at a desk with a laptop, looking towards the interviewee.

**嶋田**：皆さんは第1志望だった大学に、総合型・学校推薦型で合格しましたが。そういった入試を目指していく1年生、2年生に向けたメッセージにもなると思うし、中学生が「智翠館どうかな？」って迷った時に参考になると思うので、今日はインタビューさせてください。受験を終えて今、智翠館に思うのは？

A man in a dark suit and glasses is sitting at a desk, looking towards the interviewer.

**佐藤さん**：学校推薦・総合型に消極的な高校もあると聞きます。極力一般入試で行くようにとか、そもそも学力が見合っていなかったら受験させてくれないとか。智翠館は、私たち生徒の熱意や目的が先生方に伝わっていれば受験を後押ししてくれたので、そのことはものすごくいいかなと思いますね。まさか自分が受かるとは思ってなかったけれど、そのようなチャレンジをさせてくれることは決して当たり前じゃないのに、それをすごく当たり前にしてくれて、智翠館はいいなと思いますね。

**嶋田**：総合型・学校推薦型選抜の先生方のサポートはどうだった？

**佐藤さん**：佐々木さんはA先生にみっちり、僕も小論はB先生にみっちり、Yさんも小論はC先生にみっちり指導をしてもらえたというように、自分に合った担当の先生に見てもらえたのが良かったと思います。

**Yさん**：私の受けた入試は、小論が二年前ぐらいから導入されたので、データが少なかったり著作権の関係上課題文が載っていなかったりしていたので対策のしようが無かったところを、C先生にオリジナルの問題を作っていただいて、学習合宿の時には一日三本作ってもらったのを解いて、添削してもらいました。先生の私たちへの熱のかけかたが、本当に熱い！。週一の医療討議部でも、最近の医療に関するニュースなどを取り上げながら学びを深めていけたり、同じ医療系を目指す仲間と意見交わしあうことで得た視点をもって小論文や面接に挑むことができました。





**Yさん**：面接に関してはD先生に最初しっかり教えてもらって、その後に色々な先生にみてもらって、時には褒めてもらい、時には指摘してもらって、安心感・自信と緊張感・冷静さの両方をもらえたことが、自分の力を発揮することにつながった。  
智翠館特別コースに関わってくれている先生方は「素の私」っていうのを出したとしても否定されないし、肯定してくれて、逆にその私の素っていうのを褒めてくれるから、そういったところが面接試験で自分の強みを出すことにつながったりもしました。



**嶋田**：面接の指導で何か印象に残っているアドバイスはある？

**Yさん**：A先生に言われたことで、あまり準備していなかったような急な質問が来ても「Yさんの思ってることをこの素直に言えば急な質問が来ても大丈夫だよ」というアドバイスを頂いたのをよく覚えています。



A man with dark hair and glasses, wearing a grey suit jacket, a white shirt, and a dark tie with white polka dots. He is sitting in a chair and looking towards the right. The background shows a window with a view of a car and a building.

**嶋田**：佐々木さんはA先生の物理の面接指導はどうだった？

A man with dark hair and glasses, wearing a dark blue suit jacket, a white shirt, and a red tie. He is sitting at a table with his hands clasped, smiling broadly. The background is plain white.

**佐々木さん**：物理の専門的な知識が必要な受験だったので、面接練習でA先生の質問に、ちょっとでも曖昧なこと言ったら「そこ何??」みたいな鬼詰めされて(笑)。その鬼詰めが良かったです。だから本番は落ち着いてできました。



**嶋田**：智翠館の先生方はどんな先生ですか？



**佐藤さん**：智翠館の先生は隙があればすぐに質問に行ける。良い意味で厳しさが無い。志望校を替えるとか、何をしろとか言われず、自分の思う通りにやらせてもらえました。ちょっと添削お願いしますって言っても、その場でパーっと対応してくれるし、これやりたいんですけどって言ったら、「ああ」みたいにすぐ対応してくれるのが良いですね。



**佐々木さん**：そうそう、旧帝大レベルの質問の回答が即答で来る。先生方の対応力が本当にすごい。D先生なんかは2次試験前の講習に行っても、やることが決まっていなくて、「今日何がしたい」から始まり、阪大とか九大の英語をその場で読んで、添削や解説をしてくれる。



**Yさん**：職員室もいわゆる中学校の時までみたいな入りにくい雰囲気は全くなくて、私は教室で集中できないときや、すぐに質問したい時には職員室で勉強させてもらっていました。

**佐々木さん**：職員室ってある意味「通路」や「憩いの場」って言えるくらい入りやすかったよね。



**Yさん**：休みの日に家では勉強に集中できないし、図書館など街中に勉強するところが少ない中で、土曜日や共通テスト直前の冬休みは年末年始も毎日開放してくれるなど、勉強をしやすい環境を整えてくれるのが、智翠館の誇れる魅力なのかなと思います。

**Yさん**：指導が丁寧で熱意があるだけでなく、先生方が私たちを守ってくれる雰囲気があります。共通テストの時などとても緊張するような場面でも、自分をサポートしてくれているって実感ができるので、精神面が弱い私でも、なんとか精神を安定させながら乗り切ることができました。



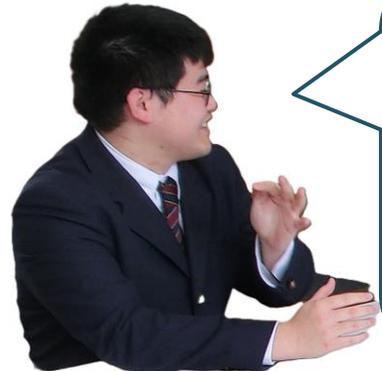
嶋田：先生方の授業はどうでしたか？



Yさん：生物は授業を止めてでも質問したら、答えてもらえるって環境あったから、わからないところをその場しのぎではなくて、押さえながらできてたというのが良かったです。



佐藤さん：僕なんかは逆に、日本史の授業はわかりやすく、E先生に一切質問をしたことはありません。歴史談義はE先生としますけど、一切日本史なんかそういう質問とかはなかったです。E先生は映像など使って上手くわかりやすく説明してくださったんで。僕だけかもしれないですけど、E先生が細かい知識とか話してくれるので興奮しながら聞き入ってました。その一方で、化学の授業で質問したらA先生が「いい質問が出たね！みんなちょっとこれについて話そうや」みたいな、質問から授業展開してくれることがありました。カリキュラムに縛られてなくて授業が面白い。



佐々木さん：物理の授業の時に、あまり授業の内容とは関係ない雑談的なところで、ミクロの世界についてお話があったんですよ。聞いた内容が衝撃的すぎて... 電子ってあるじゃないですか...(電子の説明が続く)その電子の意味のわからない、常識だと理解できないようなところに興奮しました。それに気づかせてくれたのがA先生の授業だったって感じです。生生が実に楽しそうに喋ってくれて、思わず僕らも惹きこまれていくのが智翠館の授業のよいところです。

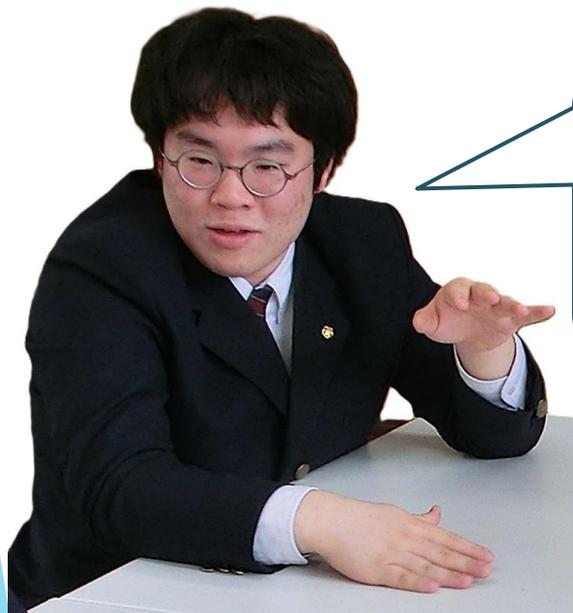


**嶋田**：Yさんなんかは、部活もしっかりやっていたけど、両立するのは大変じゃなかった？

**Yさん**：先生方は、部活でも勉強でも相談したらしっかり対応してくれました。放課後の講習も部活の時間も自分のペースに合わせてやってくれるんです。自分が行きたい講習があったら行かせてもらえるなど臨機応変に対応してくれたので、安心して両立できました。



**佐藤さん**：智翠館って、自由にできるというか、自分で勉強しようとか部活しようとかって、生徒自身の意志が大事にされていると思う。自分がやりたい勉強がたくさんあったので、みんなに一律に課せられるような宿題が極端に少ないのも良かった。



**Yさん**：私は課題があった方が勉強しやすいので先生にお願いして作ってもらいました。オーダーメイドでその生徒にあった小テストも作ってくれました。



**嶋田**：総合型・学校推薦型を検討している後輩たちにメッセージはある？

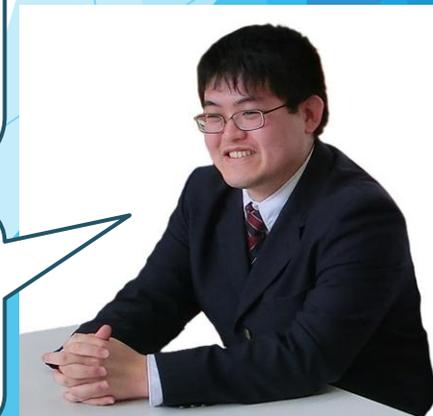
**佐藤さん**：とりあえず今の段階での将来の夢と志望校、そして覚悟を早めに決めることですね。覚悟を決めたら、論文とか本を読むのがすごい大事です。もし面接でこの教授に当たったら、絶対こういうこと聞かれるだろうなっていうのをずっと考えて、こういう本を読もうとか、僕が研究したいことに関しては海外でこういう実績があるんだとか、を調べていました。



**嶋田**：本当に佐藤君は人文系の知識が突き出てたよね。Yさんは？

**Yさん**：私は看護師に絶対的になりたいという思いがあって高校を選び、探究活動も一貫して看護に関わることについて深めたし、2年生の頃には助産師さんを招いての特別授業をプロデュースできたから、面接でも強みがあったのだと思います。自分が目指す道で、探究活動を徹底的にやってほしいです。

**佐々木さん**：「学び祭」で自分の得意で好きなことを徹底的に探究することですね。そこで得たことは志望理由書や面接に大いに活かしたので、学び祭を舐めずにその場しのぎにせずに、しっかりと取り組んだ方が良いですね。





インタビューに応じて下さった生徒の皆さん、本当にありがとうございました。大学に入学してからもさらに頑張って夢をかなえてくださいね!!